



株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058(392)2431 FAX 058(392)1284

URL: http://www.nbr.co.jp/

“うつ病” “動物モデルのご紹介”

＜強制水泳法＞

水槽中で泳がず浮いている状態(無動)を“鬱(うつ)”と見なし、抗うつ作用を検出します。被験物質の評価は、単回投与、連続投与どちらも可能です。また、マウスだけでなく、ラットでも実施可能です。被験物質の条件に合わせた試験方法を提案致します。下記に試験例を示します。

【試験系】

動物：Crj:CD1(ICR) ♀マウス、10週齢(使用時)

【試験方法】

マウスを水槽に入れて、5分間の無動時間(Immobility time)をスクラッチングシステムを用いて測定します。

【測定項目】

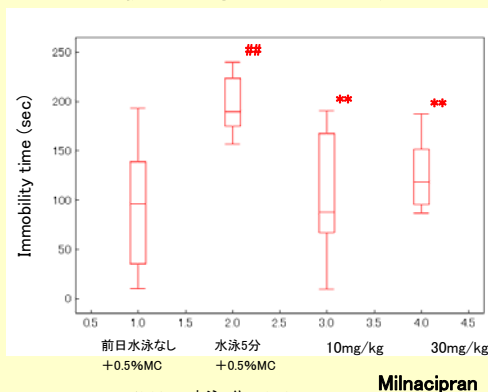
無動時間

【投与期間】

7日間

【試験結果】

投与7日の強制水泳時の無動時間



スクラッチングシステム

マウスの足に磁石をつけることによって、水槽の周りにあるコイルに流れる電流で足が動いていることを感知します。

装置を用いるので、客観的です。

承認申請資料にも対応します。



スクラッチングシステムの画面



こちらから

(株)日本バイオリサーチセンター業務企画部の連絡先が入手できます。

『心の絆 - その13 -』

汚染米、産地偽装肉、メラミン混入牛製品と食の安心・安全が叫ばれる中で相変わらず人を欺く事件が絶えません。「儲けるためにやった」。汚染米を流通させていた社長の言葉です。自己の会社だけの利益を追求した動きで、会社の為なら人への迷惑を省みない姿になっています。成長という言葉をはき違え、利益を上げることだけが会社の目的になっていないでしょうか。会社の究極的な目的は事業を通して一人でも多くの人に役立ち、喜んでもらうことと理解しています。利益を得てもそれが人の幸せや感動につながらないと意味がありません。そして成長とは目に見える物だけでなく心の成長を含めた物心両面の成長でないとはいけません。このことは個人においても同様です。戦後の日本、私たちは物の豊かさをあまりにも求め過ぎ、心の豊かさの必要性や大切さを忘れていました。これらの憂える事件を、会社そして個人ともにそれぞれの存在の目的や意義を再認識する機会にしようではありませんか。

お知らせ:

- ・ 次号も引き続き、中枢神経系のモデルをご紹介します。

佐部利 典彦のアートギャラリー(13)

岐阜県出身(1969～)

作品解説

作品タイトル:

「wall in town」

技法:油彩、
727×530mm

長い長い歴史をもつ古い街がモチーフとなっています。
長い、今までの時間と今と、未来の街に思いを馳せて描きました。

